



議会だより

NO.208

委員会レポート

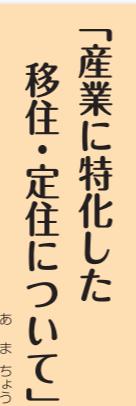
「議会改革について」

邑南町議会では、町村合併を機会に、議会基本条例を策定し、議会と議員の方向性を条例という形で明文化することで、町民に対し、議会としての意思を明確に示していました。その一環として、町民の声（要望）を広く反映させるため「意見交換会」を実施している他、ケーブルテレビを活用した一般質問の生中継や、議会だよりで各議員の議案の賛否を公表するなど、開かれた議会運営を推進しており、改革に対する積極的な取り組みを実施している点について大変参考となりました。



「産業に特化した 移住・定住について」

島根県 海士町



を削らない改革は支持されないと

の信念を持ち、給与カットを宣言

したことにより、職員や議会から

の給与カット、町民からも寄付や

補助金の返上などの申し出が出る

など、徹底した行政改革の断行の

中に、人口減少に対する危機感が

町民と共有されていることが分か

りました。また、攻めの戦略では、

地域資源を活かした産業を創出

ることで雇用の場を増やし、外貨

を獲得することで島の活性化を

図っています。例えば、島では

当たる前であったサザエカレーの

商品化を皮切りに、岩がき、隠岐

牛、塩など、島のあるごとプラン

ド化を目指していました。

これらの戦略の他、よそ者・若者が起業や活躍できる場を求めて海士町へリ・ターンをしていることや、それをバックアップする町の体制があること、SNSを通じて若者が若者を呼んでいる現状があることが分かりました。



- ①日本一の子育て村構想について
- ②議会改革について
- ③産業に特化した移住定住について

経済厚生常任委員会は、所管事務調査として、5月29日から6月2日までの5日間、次の3点について道外行政視察を行いました。

【調査項目】

①日本一の子育て村構想について

②議会改革について

③産業に特化した移住定住について

経済厚生 常任委員会



「日本一の子育て村構想について」
島根県 邑南町

住促進事業等において、役場内それぞれの担当部署が情報共有し、総合的な事業展開がなされていました。

例えば、産婦人科医や小児科

医の常勤、ドクターヘリの緊急搬送や24時間緊急受付を可能とする医療体制が確保されていたほか、体調不良児を支援する病児保育や第2子目から無条件に保育料を無料とするなど、子育てをしやすい環境づくりを行っています。地域の方々の支援も多く「地域で子育てを」という理念が浸透していることにより、人口減少の抑制に繋がっていることが分かりました。

また、J-TAERAN者の支援として専任の定住支援コーディネーターを配置し、空き家の利用や就労先の支援など徹底した移住者ケアが行われていたことも一つの要因となっていたと感じました。

守りの戦略では、町長が自ら身を断行し、人口減少対策の先駆けを行っています。

守りの戦略では、町長が自ら身

を削らない改革は支持されないと

の信念を持ち、給与カットを宣言したことにより、職員や議会から

の給与カット、町民からも寄付や

補助金の返上などの申し出が出る

など、徹底した行政改革の断行の

中に、人口減少に対する危機感が

町民と共有されていることが分か

りました。また、攻めの戦略では、

地域資源を活かした産業を創出

ることで雇用の場を増やし、外貨

を獲得することで島の活性化を

図っています。例えば、島では

当たる前であったサザエカレーの

商品化を皮切りに、岩がき、隠岐

牛、塩など、島のあるごとプラン

ド化を目指していました。

議会改革特別委員会は、議員研修の一環として、北海道大学公共政策大学院特任教授石井吉春氏を講師に迎え、「地域医療持続可能性に関する調査報告」と題し、研修会を開催しました。

を削らない改革は支持されないと

の信念を持ち、給与カットを宣言

したことにより、職員や議会から

の給与カット、町民からも寄付や

補助金の返上などの申し出が出る

など、徹底した行政改革の断行の

中に、人口減少に対する危機感が

町民と共有されていることが分か

りました。また、攻めの戦略では、

地域資源を活かした産業を創出

ることで雇用の場を増やし、外貨

を獲得することで島の活性化を

図っています。例えば、島では

当たる前であったサザエカレーの

商品化を皮切りに、岩がき、隠岐

牛、塩など、島のあるごとプラン

ド化を目指していました。